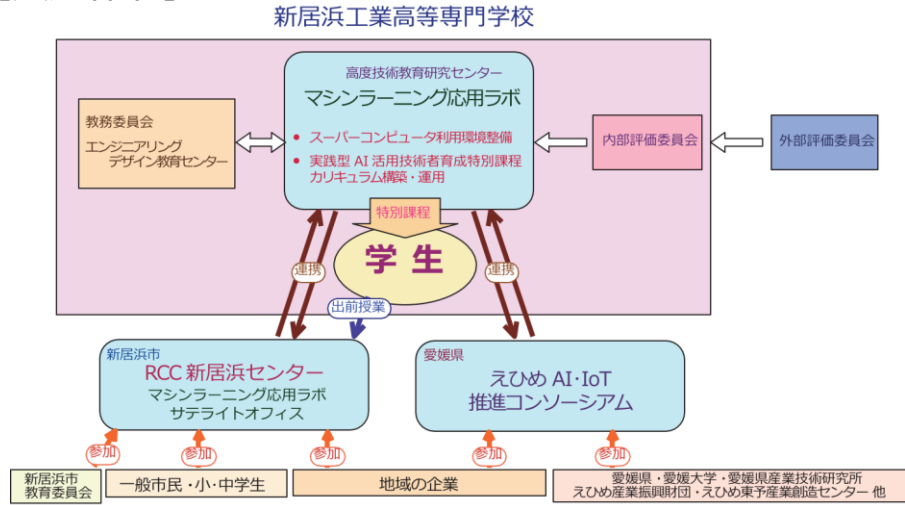




【取組の目的、内容】

本校の高度技術教育研究センター内に設置されたマシナリーニング応用ラボを核とし、AI関連技術を基礎から応用まで修得することができる**学年縦断・学科横断型カリキュラム「実践型AI活用技術者育成特別課程」**を設ける。AI機能を実現するスーパーコンピュータの利用環境を整備し、ロボットを題材としてものづくりに関連したAI活用技術を身に付けた地域に貢献できる学生を、出前授業やピアインストラクションを含む実践的手法で育成する。またこのために、新居浜市が進めている“RCC新居浜”の計画や、“えひめAI・IoT推進コンソーシアム”に参画する地域の企業とのネットワークを活用する。（RCC:Re・Create・Community）

【実施体制】



【工程表】

	H30年 7月～	H30年 10月～	H31年 1月～	H31年 4月～
特別課程	内容検討・改善 試行受講生募集		受講生募集 特別課程試行	開講
出前授業・フォーラム開催			● 出前授業実施 (H31以降継続) フォーラム開催 ●	
地元企業との連携	実践的育成に関する情報提供			

【成果指標】

- 実践型AI活用技術者育成特別課程の修了者：基礎クラス10名・応用クラス5名（H30・試行カリキュラム）→ 基礎クラス20名・応用クラス10名（H31～）
- 出前授業・フォーラムの受講者数：出前授業100名・フォーラム50名（H30）→ 計200名程度（H31～）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 特別課程の改善・充実化を行い、新しい教育プログラムを本科に設置する。
- マシナリーニング応用ラボをセンター化し、学校全体として研究を活性化させる。